■ モノづくり集積トピックス ■

事業創出 中小の底力

城南地区

企業連携 仕掛けづくり

東京都大田区と品川区は城南地区と呼ばれ、京浜工業地帯の一角を形成している。下請け企業が集積する大田区ではボブスレーのソリを開発する「下町ボブスレー」プロジェクトや医療機関のニーズを基に医療機器を開発する医工連携を進めている。

一方、品川区では中小企業の企業間連携や海外展開を後押しし、新ビジネスを創出する動きが活発化している。

大田区のボブスレー開発プロジェクトや医工連携は、どう産業につなげるかが課題。東京商工会議所大田支部の田中常雅会長（醍醐建設社長）は「市場と資本をマネジメントする人材がいないと前に進まない。こうした人材を呼び込むことが大切。『大田区の中小企業と組むと面白い』と思わせなければならない」と仕掛け作りに知恵を絞っている。

一方、品川区は大手企業と中小企業をマッチングする中核施設「大崎ものづくり産業支援施設」を準備している。「大崎再開発」の一環で、JR大崎駅の東方面に建設中の高層ビルの3、4階に入居する予定で、展示会などを開催できる多目的スペースやベンチャーオフィスを設ける。ビルは2015年5月にも完成の計画だ。品川区の山崎修二ものづくり・経営支援課長は「大崎は京浜工業地帯の発祥の地。これからも地域産業の活性化に貢献したい」と、新しいビジネスを生み出す体制を整えている。

また中小企業の海外展開事業にも力を入れている。7月に区内中小企業の海外販路開拓を目的に、ベトナム視察ツアーを実施。ホーチミン市周辺の企業の工場や展示会などを訪れた。

東京工業団体連合会の宇野沢虎雄会長（宇野沢組鉄工所社長）は「今後、国内の下請け企業は苦しくなる。だが独自製品を持っている企業は価格を自分で決められるなど戦略の幅が広がる」と優位性を説く。城南地区の中小企業は、区と連携しながらステップアップしようとしている。

12年11月に完成したボブスレーのソリの試作機

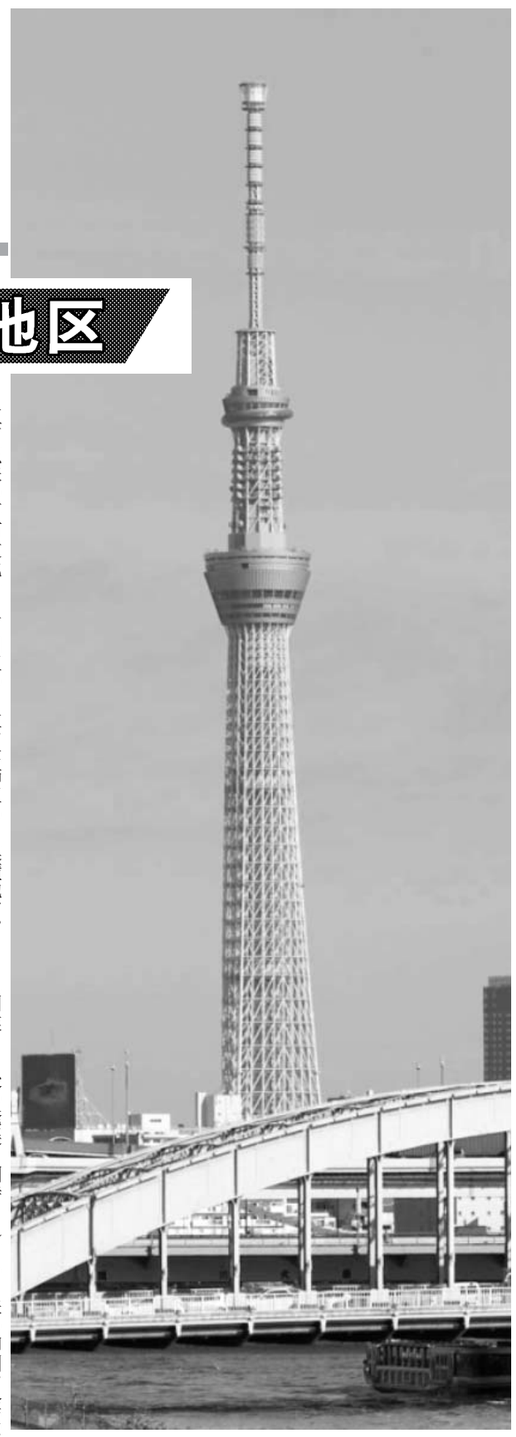
城東地区

「スカイツリー」追い風

江戸以来の下町文化を色濃く残している東京都城東地区。2010年の23区の製造品出荷額等は板橋区が首位、2位が大田区だが、上位10区では江東区の3位、墨田区の4位、足立区の5位、江戸川区の7位、葛飾区の9位と、城東地区が半分を占める。

都内随一の中小製造業集積地だ。5月に開業1周年を迎えた「東京スカイツリー」により、新たな人の流れも生まれ、今後の発展も期待されている。

都内上位の製造品出荷額を誇る江東区では、従来の印刷、金属、機械産業のほか、近年は木場周辺にIT関連企業も進出している。区内の若者の人口も増加傾向にあり、城東地区には追い風が吹いている。



5月に開業1周年を迎えた「東京スカイツリー」

区内中小企業への就職を促す「中小企業若者就労マッチング事業」や、販路開拓支援も強化している。

墨田区は空き工場対策として、新たにモノづくりの拠点づくりに取り組んでいる工場所有者や個人に対する助成を開始した。台東区は専門のコーディネーターを配置して相談機能を強化したほか、起業家支援のため「したまちTAITO創業塾」を開講する。

足立区は「ニュービジネス支援事業」として新製品開発や創業にチャレンジする経営者の支援を強化。江戸川区は展示会出展への助成拡充やフェイスブックを活用した販路開拓支援を展開する。

葛飾区は中小事業者が人材育成のために従業員を大学・専門学校などに通学させる際、授業料の一部を助成する事業をスタート。荒川区は優れたビジネスプランを表彰する「荒川区ビジネスプランコンテスト」などの各種支援事業を実施する。

城東地区には足立区の東京電機大学、葛飾区の東京理科大学、江東区の芝浦工業大学と、理科系大学もある。大学と行政、地元金融機関、産業界との連携の機運も高まっている。東京スカイツリーや住民の都心回帰で人口も増加傾向にあり、城東地区には追い風が吹いている。

城北地区

〝光学ブランド〟を確立

東京都城北の板橋区や北区には製造業が集積している。板橋区は2010年の製造品出荷額等が大田区を抜き、東京23区で首位になった。戦前に軍需工場があったことから、戦後も光学関連の職人が多く残り、現在もトプコンなどの大手から中小までの関連企業が集積している。

板橋区では地場産業である光学・精密機器産業を強力に支援する方針を掲げ、光学・レンズ製造に関する国際学術会議「ODF」の招致に成功した。14年2月の開催に向け、さまざまな取り組みを始めている。板橋区と区内の光学・精密機器関連企業の経営者が集まり、「板橋産業ブランド戦略会議」を新設し、6月に第1回会議を開催した。官民一体になって議論することにより、光学を地域ブランドとしてアピールする具体策を練る。また、板橋区は理化学研究所、宇都宮大学と光学研究に関わる協定をそれぞれ結び、産学の取り組みも加速している。「区がハブとなり、企業や大学をつないでいく」（産業振興課）と、産業支援を強力に後押しする。

板橋区以外でも、地場産業への支援強化が進んでいる。中野区は区内に集積する情報通信技術（ICT）・コンテンツ産業に対し、補助金や利子補給制度を設けて重点的に支援している。また12年に産学公連携による「中野コンテンツネットワーク協会」を設立し、セミナーや代替現実ゲーム（ARG）のイベントなどを開催している。

練馬区は日本のアニメ発祥の地で、現在も90カ所以上のアニメスタジオがある。同区でも中堅・大手アニメ関連企業の区内立地に対して補助金を設けており、成果をあげている。また、09年にアニメ産業交流協定を結んだフランス・アヌシー市と連携し、現地で開催される国際アニメ見本市への出展、インターン生の受け入れなどを実施している。

練馬アニメーション協議会はフランスの「アヌシー国際アニメ映画祭・見本市」に出展。区も出展を支援している

国際規格「ISO9001」「ISO14001」認証取得

生コンクリート製造・販売
株式会社 内山 アドバンス
本社／東京都江戸川区東瑞江二丁目45番地
本部／千葉県市川市新井三丁目6番10号　☎047-398-8801
http://www.uchiyama-advance.co.jp/

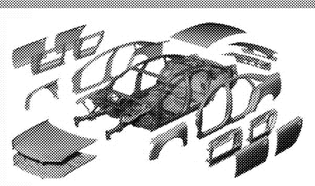
生コンクリート・セメント・建設資材の販売
山一興産株式会社
本社／千葉県浦安市北栄四丁目20番10号
本部／東京都江戸川区葛西七丁目20番1号　☎03-5675-4121
http://www.yamaichikousan.co.jp/

不動産の売買と仲介・解体工事
山一産協株式会社
本社／東京都中央区日本橋人形町一丁目12番11号　☎03-6431-8151

Taiseiplas
世界初の加工技術 発進
※世界9カ国の世界特許取得

■ 金属にプラスチックスを分子サイズで接合【NMT】
□ 金属（アルミニウム、ステンレス、銅、マグネシウム、鉄、チタン、黄銅、アルミメッキ鋼板）と熱可塑性樹脂（PPS、PBT、PA6、PA66、PPA、PP）を射出成形で溶融接合
□ 接合強度は40MPa以上
□ -55℃/1hr⇔150℃/1hr 3000サイクル接合劣化なし（自動車のエンジンルーム耐10年相当）

■ 射出成形で鉄と同強度の軽量化部材をつくります
□ 厚さ0.25㎜のアルミで発泡PPを挟んだ新部材（厚さ4mm）で、厚み2㎜の鉄板と同じ曲げ強度を実現
□ 同等の曲げ強度を持つ鉄板（SPCC）に比べて重量は1/5
□ 次世代自動車の座席フレームやピラー、ドア用の部材として提案中



■ 射出成形で連続気孔体をつくります
□ 熱可塑性樹脂に水溶性物質を混入して成形後に溶出することで自由な形状の連続気孔体を射出成形加工
□ 比重は1/3
□ 軽量化のほか、通気性を必要とする製品に適用可能

http://www.taiseiplas.com

お申し込み　大成プラス株式会社
TEL 03-3243-1851　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号　日産江戸橋ビル9F